

○「既存プランに周辺地区を加え見直し」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第8回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の発生防止・解消

新規参入の 促進

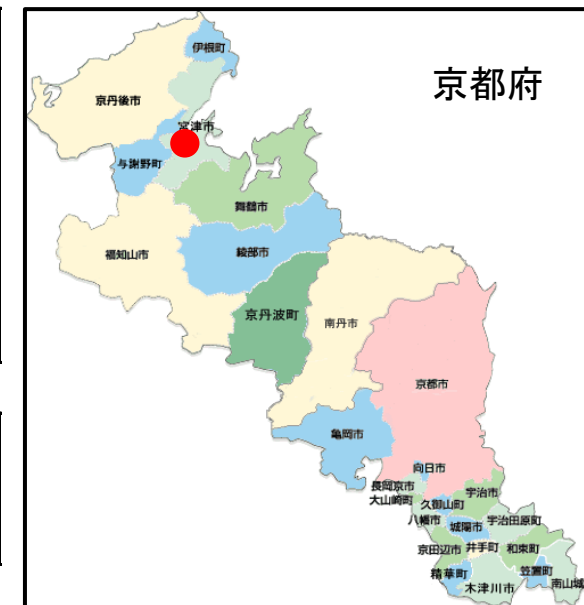
その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- | | |
|-----------|---|
| ○ 日時(時期): | 令和2年1月22日(水) 19:00~21:00 |
| ○ 場 所: | 宮津市波路地区集会所 |
| ○ 出 席 者: | 委員2人、推進委員1人、区長2人
農業者2人、市1人、事務局1人
※委員3人、委員以外6人 |
| ○ 報 告 者: | 増田 英雄 農業会議現地推進役 |

2 地区の特徴、状況、課題

宮村：耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応（山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり）
辻町：耕地3.5ha 機械所有者2名 ／ 滝馬：耕地8.5ha 乾燥機9台 ／ 皆原：中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
山中：イノシシ被害大 まとめ役不在 ／ 波路：プラン作成済（新規就農） ／ 獅子崎・波路町：高齢化。波路が耕作



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プランの検討（波路、波路町、獅子崎地区）
- ・波路地区プランに波路町と獅子崎地区を加える
 - ・課題は5～10年後の後継者確保
 - ・中核担い手2人で野菜栽培が増。栽培販売作物に学校給食野菜を追加
- 意見交換
- ・販売先の検討が必要（毎日販売できることが必要。観光では土日限定になる 等）
 - ・学校給食は安定的な販路にならない
 - ・販売の組織化が必要ではないか
 - ・地域への周知（波路、波路町は農会総会で説明。獅子崎は説明方法を農会長と協議する）
- 確認項目：年1回はプラン推進委員会を開催して見直していく

4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援